

北信教育事務所だより 第1号

平成30年4月26日

～子どもに褒め、子どもに還る 学校づくり 授業づくり～

も く じ

- ・ 所長あいさつ … 1
- ・ 学校教育課長あいさつ … 2
- 生涯学習課長あいさつ
- 北信教育事務所職員紹介
- ・ 学校教育課
- ランドデザイン … 3
- ・ 生涯学習課
- ランドデザイン … 4
- ・ 生涯学習課
- 主な事業予定 … 5
- ・ 日々の授業改善研修 … 6
- 研究主任研修会
- わくわくスポーツセミナー
- キラ☆と笑顔 わくわく講座
- ・ キラ☆と光る 写真案内 … 7
- キラ☆と輝く コラム

北信教育事務所長あいさつ

平成30年度&第3次教育振興基本計画 スタート！

所長 おたぎりのぼる 小田切 昇

この春は、暖かい日が続き、全国的に桜の開花が早まり、北信地域でも、桜の花が開く中、小・中学校の入学式が行われました。

ピカピカのランドセルを背負って元気に登校する小学1年生の姿に、元気のお裾分けがもらえるような気がします。

平成30年度、北信教育事務所においては、17名の転入者を迎えてスタートいたしました。

本年3月、「『学び』の力で、未来を拓き、夢を実現する人づくり」を基本理念とする、「第3次長野県教育振興基本計画」が策定されました。

本年度は、計画期間の初年度として、計画の浸透を図るとともに、基本理念実現のための基礎づくりの年として、各種施策に取り組んでまいります。

発達障がいのある子どもたちの増加、学校現場における働き方改革の推進など、教育行政が取り組むべき課題は多く、複雑・多様化しています。これらの課題対応にあたっては、市町村教育委員会、学校、地域の皆さんとしっかり連携・協力して取り組んでいく必要があります。

信州教育の振興と子どもたちの健やかな成長に向け、「チーム北信教育事務所」として一丸となって取り組んでまいりますので、一年間どうぞよろしくお願い致します。

北信地区の風景



千曲市 あんずの里 2018/4



平成30年度重点目標・キーワード

学校教育課

“語り つなぐ”

生涯学習課

“学びをつなげて

人づくり 地域づくり”

新年度が始まって約1ヶ月。新しい環境にも慣れ、笑顔があらわれていることでしょう。北信教育事務所は、すべての学級の子どもたちの、すべての学校の先生方の笑顔につながるよう、ともに歩みます。

事務所だよりについても、ご意見・ご感想・ご希望の記事等をお寄せ下さい。

(メール hokushin-s@pref.nagano.lg.jp まで)

学校教育課長あいさつ

生涯学習課長あいさつ

笑顔あふれる学校支援を

学校教育課長 こばやし じゅんいち
小林 順一

4月に着任し、課長を務めさせていただきます。
よろしくお願ひいたします。

新学習指導要領への移行期を迎え、長野県の第3次教育振興基本計画が策定されました。本年度は『子どもに発し 子どもに還る 学校づくり・授業づくり』を目標に、「語らい つなぐ」をキーワードにして支援に努めてまいります。

学校訪問は学校のニーズに応えられるよう、ゾーン担当による訪問、単元訪問、その他の訪問の3形態で支援を行います。また、SSWを増員し、いじめ・不登校対策、悩みや困難を抱える児童生徒や家庭への支援、教育相談等の充実をめざします。他にも教育相談や各種研修等に取り組みます。

日々の授業の充実に向けて、課での研修等私たちも研鑽し、共に歩んでいきたいと思ひます。
よろしくお願ひいたします。

学びをつなげて 人づくり 地域づくり

生涯学習課長 やまさき よしじ
山崎 吉治

生涯学習課は、社会教育・スポーツ振興・社会人権教育の3つの分野を通して、「学びをつなげて人づくり 地域づくり」をめざします。

そのために、地域の行政関係者、各種団体、学校等と連携して、地域社会のニーズに応じた質の高い「学び」を提供したいと思ひます。具体的な取り組みとして、学校と地域の協働活動の推進、子どもの居場所づくり支援を行います。スポーツ指導者の研修や地域でのスポーツ活動を応援します。人権同和教育は誰にとっても学び続けるべき重要課題であり、その学びの場を提供します。

今年度も積極的に学校や地域に出かけて行きますので、よろしくお願ひいたします。

北信教育事務所職員紹介

1年間よろしくお願ひします！

チーム北信教

「学び」の力で、未来を拓き、夢を実現する人づくり
信州教育の振興と子どもたちの健やかな成長に向け
「チーム北信教」として一丸となって取り組みます

□ 参事兼所長

小田切 昇

□ 総務課

副参事兼次長兼課長

水野 博記

専門幹兼課長補佐

山岸 耕二

主幹

山崎 綾子

主幹

成田 哲也

主幹

越野 哲雄

主任

土屋 克文

主任

高藤 裕之

主任 (再)

市瀬 竜二

主事

大塚 政志

主事 (臨)

中村みどり

学校給食放射線物質検査員

佐藤 恵子

□ 生涯学習課

主幹指導主事兼課長

山崎 吉治

指導主事

西澤 慎治

窪田 聡史

小島 豪

□ 学校教育課

主幹指導主事兼課長

小林 順一

主幹指導主事

高野 直樹

坪井扶司夫

赤羽 文恵

主任指導主事

嶋田 勝彦

生徒指導専門指導員・主任指導主事

宮澤 典彦

指導主事

(国) 古旗 明

(社) 宮原 理恵

(算・数) 合内 誠宣

(理) 後藤 理

(生・総) 千葉 富夫

(道・人) 小林 誠

(学・特) 板倉 新一

(特支) 藤森 哲

いじめ・不登校相談員

湯田 博

特別支援教育推進員

馬場 博雄

スクールソーシャルワーカー

宮崎 貞子

東福寺 裕子

坂巻 通子

永池 幹

下野 隆生

島田 和政

6名に増員
されました！



しあわせ信州



働き方を見直し、すべての学校、学級で授業の質を一層高めるために

◆資質・能力ベースの授業改善を進める

- 内容や時間のまとまりを見通しながら行う
主体的・対話的で深い学びにつながる継続
的な支援
- 自校でまわす PDCA サイクルづくりへの支援
～各校の自立を支える
ゾーン担当指導主事のかかわり～

◆子どもと向き合う時間の確保を進める

- 主幹指導主事や指導主事による体制づくり
に関する相談や事例の紹介等の支援



学校訪問支援等
確かな学力

◆校内外の実践の成果等を共有する

- 研究主任研修会（3回）

◆教育的ニーズに応じる実践力を高める

- 特別支援教育関係の研修
- 外国籍児童生徒関係の研修（2回）

◆校種や教科・世代を超え実践力を高める

- 初任者研修・キャリアアップ研修Ⅰ
- 日々の授業改善研修（3回）

教育事務所研修会等
学び続ける教師

◆学校、家庭地域、各機関の連携を図り、 いじめ・不登校等の課題に取り組む

- 相談員の巡回訪問と相談支援
- 特別支援教育推進員による、指導主事やSSWの
訪問に同行しての助言や支援会議への参加
- スクールカウンセラー（SC）の配置及び、
スクールソーシャルワーカー（SSW）の派遣
- キラッ☆と笑顔 わくわく講座
- 不登校等の生徒のための高校進学相談会
- 北信地区推進会議

各種会議や相談会、派遣事業
協働による支援



学校教育課 平成 30 年度 キーワード

語らい つなぐ

主幹指導主事・相談員・SSW・特別支援教育推進員・指導主事等で語らいながら支援の方向を探ります

チーム北信教育事務所

学校教育課 目標

子どもに誇り、子どもに還る 学校づくり 授業づくり



教学指導課 〈重点1 授業作り〉 主体的・対話的で深い学びの実現 〈重点2 学校作り〉 カリキュラム・マネジメントの充実

長野県教育委員会 三つの重点：1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 2 カリキュラム・マネジメントの充実による教育活動 3 家庭や地域社会との連携・協働

平成30年度北信教育事務所生涯学習課 グランドデザイン

県の方針

- 長野県総合5か年計画（2018～2022）「しあわせ信州創造プラン」
- 第3次長野県教育振興基本計画
- 長野県生涯学習基本構想
- 長野県生涯学習審議会
- 第2次長野県スポーツ推進計画
- 長野県人権政策推進基本方針

所の方針

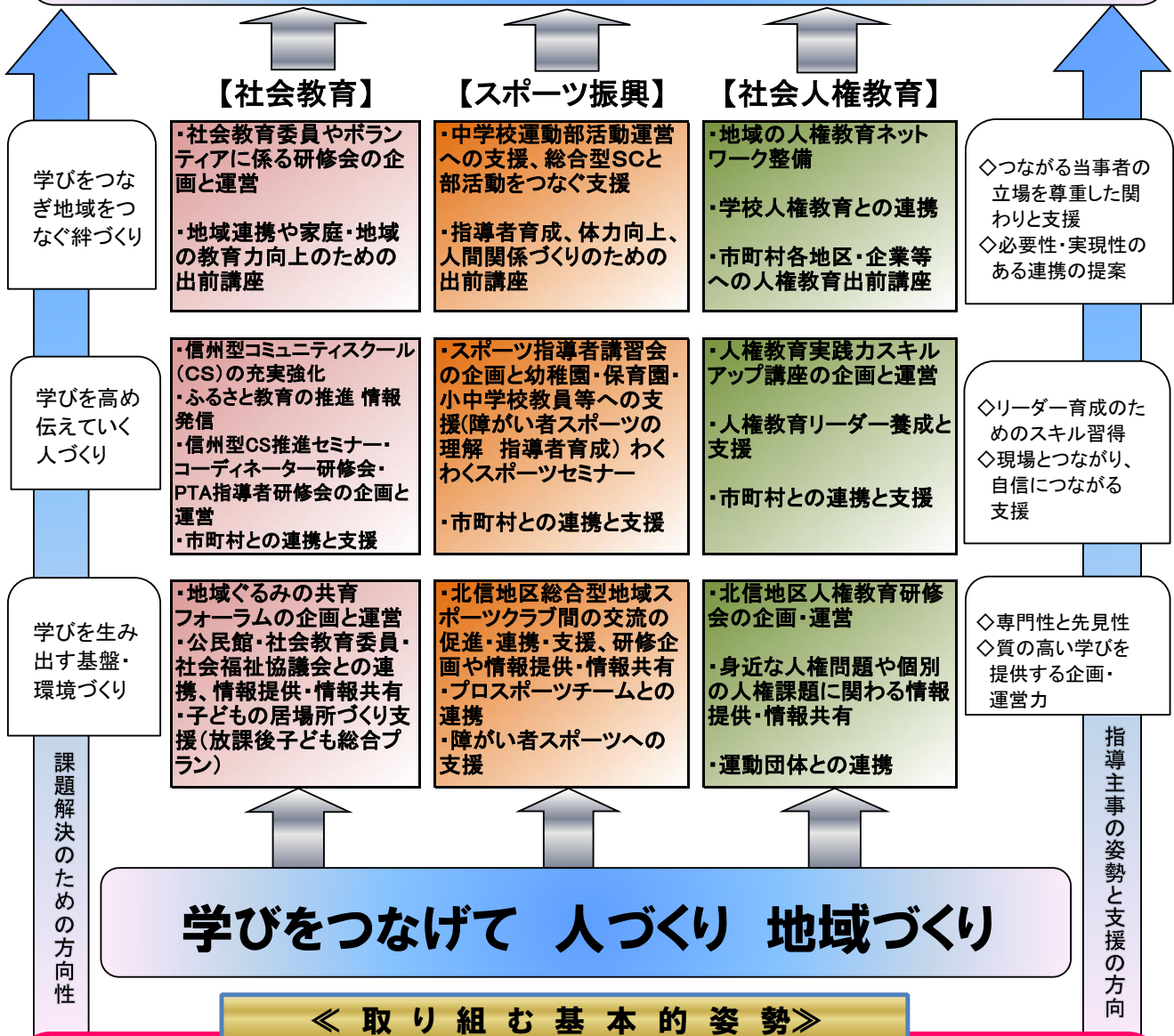
多様化する社会環境に適応できる「ひと」を育成することをめざして、生涯学習の事業を推進し、支援を行う。
「一人ひとりの学びが生きる教育立県“信州”の創造」を目指す。

国の方針

- 教育振興基本計画
- 中央教育審議会報告「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」
- 第2期スポーツ基本計画（2017～2021）
- 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律
 - ・障害者差別解消推進法（2016.4）
 - ・ヘイトスピーチ対策法（2016.6）

目指す地域社会の姿

- 子育て・まちづくり・生涯学習等が充実した、生きがいのもてる地域
- 日常的にスポーツに親しむことのできる人的環境・施設環境の充実した地域
- 人権を尊重する地域、地域の人権課題は地域で解決できる地域



課題解決のための方向性

指導主事の姿勢と支援の方向

学びをつなげて 人づくり 地域づくり

《 取り組む基本的姿勢 》

- ①地域社会のニーズに応じた質の高い「学び」を、生涯学習の立場で提供する。
- ②地域の行政関係者、各種団体、学校等とつながり、連携・協力して地域の絆を深める。
- ③主催事業での研修は、質の高い内容を工夫し、地域社会の生涯学習に寄与できるものにする。
- ④出前講座等、出向く研修をさらに活性化し、「学び」とどける。
- ⑤教育関係機関や各種団体との連携や情報交換を密にし、活動する現場の訪問を積極的に行う。

平成30年度の主な事業予定

信州型コミュニティスクール推進セミナー（～学社連携意見交換会～）

- 6月14日(木) 長野市役所(長野地区対象)・・・長野市教育委員会との共催
 - 7月 5日(木) 千曲市総合教育センター(更埴地区、上高井地区対象)
 - 7月10日(火) 北信合同庁舎(飯水地区、中野・下高井地区、上水内地区対象)
- ※他地区の会場への参加も可能です。



信州型コミュニティスクールコーディネーター研修会

12月18日(火) 長野合同庁舎

地域ぐるみの子育て研修会

- ◇地域ぐるみの共育フォーラム
8月25日(土) 会場:山ノ内町文化センター
- ◇放課後子ども総合プラン研修会
9月20日(木) 会場:北信保健福祉事務所



PTA指導者研修会

- ◇日時・会場
5月26日(土) 千曲市総合観光会館
7月29日(日) 中野市豊田文化センター
- ※どちらの会場への参加も可能です。

わくわくスポーツセミナー

- (スポーツ活動指導者講習会) (午前開催)
- ◇ 5月20日(日)会場:長野市柳原公民館・体育館
 - ◇ 10月27日(土)会場:県障がい者福祉センター・サンアップル
- 生涯にわたりスポーツに親しみ、健康・体力づくりを実践できるよう、スポーツ指導や健康・体力づくりに関わる理論及び実技についての研修を行います。



中学校スポーツ活動運営委員会

子どもたちにとって適切な活動を、学校が家庭や地域との連携を図りながらつくっていくうえでの情報提供や連携のサポートを行います。

要請に応じて随時訪問します。



学校と総合型地域スポーツクラブとの連携

地域に住むすべての人たちが生涯にわたってスポーツを楽しむことができる総合型地域スポーツクラブ(以下 総合型クラブ)が北信管内には19クラブあります。総合型クラブは「誰でも」「どこでも」「世代をこえて」「好きなレベルで」スポーツを楽しむ場として、地域住民が主体的に運営しているクラブです。子どもたちの運動離れや体力向上にかかわること、中学校部活動との連携にかかわること等を地域とともに考えていくために学校と総合型クラブとのつながりを支援します。要請に応じて随時訪問します。



北信地区人権教育研修会

- ◇7月19日(木) 会場:長野市東部文化ホール・柳原公民館
- 午前:講演会 同和問題について 予定
午後:5分科会(実践発表及び基礎講座)
- ①同和問題の学校実践 ②性的マイノリティーの人権
 - ③障がい者スポーツ ④旅館業における若者支援
 - ⑤ワークショップの基礎講座

学校、PTA、行政、企業、地域などの様々な実践に学びながら、地域ぐるみの人権教育について様々な立場の方と情報交換できると好評です。

ご参加お待ちしております。



長野県人権教育リーダー研修会

- 【全体研修会(東北信会場)】
- ◇8月30日(木) 会場:千曲市更埴文化会館
- キャリアアップ研修Ⅱの現代的な諸課題への対応Ⅱ及び選択研修Ⅲに指定されています。
- 【実践カススキルアップ講座(地区別研修)】
- ① 6月 7日(木) 会場 長野市中央隣保館
 - ②10月 5日(金) 現地研修(長野市)
 - ③ 1月17日(木) 会場 長野合同庁舎
- 同和問題を中心に様々な個別の課題についての講座を開設予定です。各講座の開催要項は、各学校に1ヶ月前までに通知します。



初めての研究主任
なにをしていいの
やら…

他校の実践の様子
について知りたい
なあ

子どもたちが「できた！」
「わかった！」と実感で
きる授業がしたいな



先生方の声にお応えします！日々の
授業づくりについて、みんなで語ら
いながら、子どもたちが「学ぶ楽し
さ」を感じられる授業を考えてみま
せんか。

第1回日々の授業改善研修

5月18日(金)【中野市豊田公民館】

5月22日(火)【長野合庁】

*講師、初任3年目までの先生が対象です。

第1回は…

- ・「学ぶ楽しさ」を感じられる授業づくり(授業づくりの基礎・基本)のポイントについて考えます。
- ・少人数のグループで、日ごろの悩みを語らいながら、明日からの授業改善の糸口を探ります。

*締め切りは5月1日(火)です。各校に配信している要項をご覧ください。

〈今後の予定〉

第2回 7月27日(金)

- ・2学期に行う授業の単元構想・指導案を作成しながら考えます

第3回 11月26日(月)

- ・実践したことから学び合います

第1回研究主任研修会

5月21日(月)

① 全体演習

テーマ「本校の自立的な学力向上PDCAサイクル構築に向けて」

今年度の全国学力・学習状況調査問題等から、授業改善の糸口をつかむ方法を見つけていきます。

② グループ演習

研究主任(ミドルリーダー)としての役割や取組について意見交換し、持ち寄った「研究構想シート」を練り上げていきます。

研究シートを作って
見通しをもちませんか

たくさんの先生の参加をお待ちしています。

日	時	内容
5/21	9:00-10:00	全体演習
5/21	10:00-11:00	グループ演習
5/21	11:00-12:00	グループ演習
5/21	12:00-13:00	昼食
5/21	13:00-14:00	グループ演習
5/21	14:00-15:00	グループ演習
5/21	15:00-16:00	グループ演習
5/21	16:00-17:00	グループ演習
5/21	17:00-18:00	グループ演習
5/21	18:00-19:00	グループ演習
5/21	19:00-20:00	グループ演習
5/21	20:00-21:00	グループ演習
5/21	21:00-22:00	グループ演習
5/21	22:00-23:00	グループ演習
5/21	23:00-24:00	グループ演習

第1回わくわくスポーツセミナー(スポーツ指導者講習会)を開催します!

- 日時 平成30年5月20日(日) 9時00分~12時00分
- 会場 講義 長野市立柳原公民館 実技 長野市宮柳原体育館
- 内容 〔講義・実技〕 『遊びの本質から考えよう!“心が動いて体が動く”運動遊びの提案』第2弾!!
〔講師〕 公益財団法人 身体教育医学研究所指導部長 渡邊 真也 さん
- 対象者 幼稚園・保育園・小中学校関係者、部活動指導者、地域のスポーツ指導者
放課後子ども教室・児童クラブ関係者等

- *そもそも遊び・運動ってなんだろう? *子どもが主体的に遊び込んでいくための支援は?
- *幼児期から少年期の心理的な発達とは? *子どもの気持ちや動きをどのように捉える?
- *苦手さを抱えている子どもや消極的な子どもへの支援は?

子どもたちの意欲満々な姿につながるよう、皆さんで楽しく学びましょう!



中間教室や相談室に通う子どもたちに“キラッ☆と笑顔”を

~キラッ☆と笑顔 わくわく講座をご活用ください~

登校や教室に戻るきっかけをつかんだり生活リズムを整えたりできるお手伝いをします

~昨年度行った主な活動~
ペタンク(ニュースポーツ)
バドミントン、卓球
バスケットボール
理科の面白実験(空気砲など)
工作、手芸

今年度は、さらに中間教室や相談室の担当の先生方との語らいも大切に考えて参ります

複数の指導主事でお伺いしますので、指導主事の一人が児童生徒さんと活動している時に、もう一人の指導主事がお話を伺ったり、日頃お困りのことなどについて、相談にのったりさせていただくことも可能です。

リラックスして笑顔で活動していて、よかったです。普段は一人で子どもと接していることが多いのですが、他校の相談室の取り組みも紹介していただけて参考になりました。

(相談室担当の先生からいただいた感想より)



7月より随時開催します。開講可能日は後日お知らせします。

お申し込みはFAX(026-234-9557)でお気軽にどうぞ!!(担当指導主事 後藤)

「キラッ☆と光る 子どもと先生」を紹介します

～言葉には言い尽くせないキラッと光る瞬間を～

学校を訪問した際に出会った、児童生徒と教師とが思いを共有している場面。児童生徒のひたむきな追究の姿、そこに心から寄り添う先生方の姿。言葉には言い尽くせない、キラッと光る瞬間をこれからも大切にしたいと願い、撮影した写真をホームページに掲載させていただいております。

今年度も学校訪問などで出会った場面を紹介していきたいと思えます。ホームページの当コーナーをご覧くださいとともに、趣旨をご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。



ホームページのここから、コーナーに入ることができます。

すごいじゃん

写真に写っている皆様からは、学校名や氏名などを載せないことを条件に掲載の許可をいただいております

「キラッ☆と輝く 子どもの先生の笑顔 vol.1

学校訪問で出会った「笑顔」をコラム風に紹介します

M小一年 生活科
「あきがいったばい」
登校はするが母親と別れることに不安を感じるK児。母親が教室で見守ることでクラスの友と一緒に学校生活を送ってきたK児が、繰り返し学校周辺の野に出かける中で、自立への歩みを進めていく。

「小さい頃から常にいい子で我慢していることが多かった」そう語るK児の母親の言葉が、担任の先生には、「子どもたちの想いというよりも教師の都合を優先して授業を進めてきた」自らの姿と重なった。先生は、K児にとって学校が一人で居ても大丈夫と思える場所となってほしいと願った。そこで先生は、子どもたちと繰り返し野に出る機会を設けた。「今日はこれをしよう」と決め、豊富な材に囲まれた自然の中で「私もこんなことがしたい」という体験を積み重ね、のめり込んでいくK児の姿を思い描いたからである。

◆十一月中旬のこと。「それじゃあ行こうか」先生とK児はいつもの場所に出かけていく。K児の両手には厚手の手袋がはめられていた。この手袋は母親が買ってくれた大切な手袋。母親代わりのような存在であった。K児は枕のように大きな石がいくつも転がっている場所に向

かった。ぐらぐら揺れる石の上を一步一步確かめ、時には手をつきながらも「わお〜」と楽しげな声を上げながら渡っていった。◆存分に石の感触を楽しむと、今度は赤い木の実を集めに近くの茂みへと向かった。一粒二粒と赤い実を集めていくと、その手から手袋を外し柔らかな木の実は感触を味わった。外した手袋を右手で握りしめながら、今度はおままごとをした大きな木の根元へと向かったその時……。K児はつまずき、大きく転んだ。膝に付いた土を払う前にK児は落とした手袋を拾い上げた。◆こうして大きな木の根元へとたどりついたK児は葉っぱや水を集めながらスリーブを作り始める。そこへやってきた先生はK児から差し出された葉っぱのスリーブを「いただきます！美味しいね」と共に味わった。◆教室に戻ると先生は先頭を歩いていたのはK児だった。繰り返し野に出ることで心と体が開かれ、自ら材に働きかけてきたK児。初冬の冷たい空気の中、手袋はお尻のポケットにしまわれていた。その傍らには笑顔でK児の後ろ姿を見守る先生も居た。

【このエピソードから何を感じましたか？】



【このエピソードから大事に考えたいこと】

○やりたいことを見つけ、自ら材に働きかけていくことで、自立への歩みを進めていく姿

○子どものことを分かろうと、自らを省察する教師の存在